



特集 笠間最古の窯元をたずねて～久野陶園～
花めぐりマップ
ひと目でわかるギャラリースケジュール
陶芸女子こらむ「花見と器」



*益子面はウラへ

2014/4/1 発行

第33回笠間の陶炎祭（ひまつり）

日時：4/29（火・祝）～5/5（月・祝）
時間：9:00～17:00
場所：笠間芸術の森公園 イベント広場
お問い合わせ：0296-73-0058（笠間焼協同組合）
http://www.himatsuri.net
（笠間の陶炎祭公式ホームページ）



笠間陶炎祭 検索

☆笠間の陶炎祭HP内にある、陶芸女子ブログもお楽しみに！！

匠工房・笠間フェア

ロクロ体験やなど、伝統工芸師の実演など笠間焼に親しむことができます。
入館・体験・見学・休憩すべて無料！
日時：5/3（土・祝）～5/5（月・祝）
時間：9:00～16:30
場所：「匠工房・笠間」茨城県工業技術センター産業指導所（笠間芸術の森公園内）
お問い合わせ：0296-72-0316
http://www.kougise.pref.ibaraki.jp/yougyou/index.htm



匠工房・笠間 検索

4/29（火・祝）～5/5（月・祝）まで笠間芸術の森公園にて、春の陶器市、第33回笠間の陶炎祭（ひまつり）が開催されます。200件以上の陶芸家・窯元・地元販売店が出店する、茨城県下最大の陶器市です！
笠間焼の販売はもちろん飲食店が立ち並び、楽しいイベントも盛りだくさん！
※会期中は道路の混雑が予想されますので余裕を持ってお越し下さい。
※臨時の大規模駐車場（旧畜産試験場跡地）あり。（駐車場から会場まで無料シャトルバスが運行しています）



おすすめスポット



⑨ きらら館

全国の作家600人以上の陶器が並ぶお店。きらら館の工房でひとつひとつ丁寧に作られる器は、丈夫で料理が映える。キャンパスのような白。使い勝手の良さが魅力です。

笠間市笠間2258-1
0296-72-3109
店休日：年中無休
営業時間：10:00～18:00
http://www.kilalakan.jp/kasama.html



笠間市箱田1804 Tel 080-5016-6966
営業時間 10:00～17:00 ※不定休につき要予約

240年間続く 歴史ある窯元 久野陶園

空間焼は、江戸時代中期の安永年間（1772～1780）、信楽（現在の滋賀県）の陶工・長右衛門の指導により、窯を築き陶器を焼いたことが始まりとされています。その笠間焼の創始の窯元が、「久野陶園」。初代・久野半右衛門道延によりその歴史が始まり、日用陶器・そして厨房用粗陶器の窯業産地として知られるようになります。時代とともに、「工芸陶芸」へと変化していった空間焼。その歴史が生まれた場所―窯元「久野陶園」の今に迫ります。

昔の雰囲気そのままだに残すこうば

こうばの入口から一歩中に入ると、そこには歴代の職人たちが使っていた様々な道具がたくさん残っている。その中でも、現存している「ベルト式動力ロクロ」は見物の一つ。今ではとても貴重となったその道具は、1つの動力で大きなベルトを回転させ、床にまっすぐと延びる軸が回転し、ロクロとその回転軸とをベルトでつなぐと動く仕組みになっている。6台のロクロがずらりと並ぶこうばは圧巻だ。そのすぐ傍には、趣きのある囲炉裏も残っており、かつてそこで作業していた職人たちの姿が目に見えようである。



「久野陶園」という存在 ― 十四代目・慶子さんに聞く ―

久野陶園は「生まれた場所」。幼い頃から、こうばは遊び場だった。職人たちに怒られながら、かくれんぼをしたり、周りであちこち遊んで遊ぶことが大好きだった。そんな子供の頃の経験が大きいと話す。「いずれは十四代目に」と言われることが、とても嬉しかった。どうにか逃げ出したいと考えていた。それでもこの道を選んだのは、「見てることが好きだから」。職人たちの作業を傍で見ていたことは、とても良かったと思うし、自分の中にその時代の風景がちゃんと残っている、そう慶子さんは話す。

昔、たくさんいた職人たちも今はもういない。昔ながらのこうばの中で、現在は手ひねりやロクロの体験・陶芸教室も行っている。子供時代を過ごした場所。そして、いつしか遠ざけてきた場所。

先代である父親が亡くなった時もすぐには十四代目を継ぐ気にはなれなかった。それでも今はこの場所を選び、やきものに向き合っている。最近では、やきものの歴史の勉強も面白く思えるようになったという。

最後に、慶子さんにとっての久野陶園という存在について聞いてみた。「何かしたい」と思っているけど、大したことが出来ないうちに終わっちゃいそうですね。きっとその意味は死ぬまで分からないです。そう笑って話してくれた慶子さん。母屋裏の竹林の中にあるお墓には、昔の陶工も眠っている。空間焼の歴史を目で肌で感じることでできるこの場所には、ゆっくりとした時間が流れている。（取材＆文：piro）

陶芸女子こらむ 「和食と和食器」

春の行事の一つである花見。花見といえば桜。日本ならではの慣習ともいえる花見の文化は古くから日本人に親しまれてきました。桜は人の心を惹きつけてやみません。いつの時代も日本人は、桜の下で、大切な人、愛する人、家族や仲間たちとともに桜を見上げているのです。

奈良時代の頃は、中国から梅の渡り来とともに梅の花を鑑賞する文化が広がり、この時代の代表的な花として万葉集にも梅が多く詠われました。その頃は、桜はそれほど好まれてはなかったようです。平安時代に、入都してからは、京都には自生の桜が多く、貴族の間でも家に桜が植えられるようになり、時代とともに、「工芸陶芸」へと変化していった空間焼。その歴史が生まれた場所―窯元「久野陶園」の今に迫ります。

をみない規模で、その華やかさは庶民の間でも長く言い伝えられたほどだったそうです。江戸時代に入るとからは家継や八代将軍吉宗によって江戸への大量輸移が行われています。桜の期間だけ境内を開放し、みなど花見に出かける習慣が生まれたようです。この頃の江戸には男も女も着物をあつらえ、着飾って出かける「見物」の一つでもあり、男女の出逢いの場でもありました。

さて、日本には時を経て変わらなくなり、美しく咲く桜があります。桜を愛し、人々の風情ある情景が描かれてい

る「浮世絵」です。歌川広重の浮世絵には、若い女性たちが優雅に花見している様子が描かれ、その中には、徳利と盃、料理を詰めたお重などが並びます。料理を詰めたお重など花見が多く描かれ、徳利、盃、取り分け用の皿や箸などを組み入れた携帯用の「花見重なるもの」も使われました。日本の花見、そこには絵になる器があったのです。

春。そんな歴史に想いを馳せながら、花の下を散策し、お弁当に舌鼓を打ちながら花見に興じます。そんなひと時をお気に入りの器で楽しんでみてはいかがでしょうか？（コラム：piro）



GALLERY SCHEDULES ギャラリースケジュール ※都合により、展示内容・会期が変更となる場合がございます。

- ① 茨城県陶芸美術館 笠間市笠間2345 0296-70-0011 9時30分～17時 月曜日(祝日の場合は翌日) 麗しのマイセン展 4/26(土)～7/13(日)
- ② 笠間工芸の丘 笠間市笠間2388-1 0296-70-1313 10時～17時 月曜日(祝日の場合は翌日) 渡辺兼次郎 野の花の絵付器展 4/1(火)～13(日) 久保田耕一作陶展 4/15(火)～27(日) 山口堅三作品展 4/29(火・祝)～5/11(日) 長山六作陶展 5/13(火)～25(日) 折笠秀樹陶展 5/27(火)～6/15(日) 櫻村恭子作陶展 6/17(火)～29(日) 小林政美作陶展 5/13(火)～25(日) 藤森輝彬展 4/15(火)～27(日) わが家のモニュメント 浅賀正治 4/29(火・祝)～5/11(日) 山崎正光・幸子二人展 6/17(火)～29(日)
- ③ ギャラリー舞台 笠間市笠間2518-8 0296-73-0700 11時～18時 月曜日(祝日の場合は翌日) 高橋協子展 4/5(土)～20(日) 櫻井理人・あゆみ展 5/24(土)～6/1(日)
- ④ Glass Gallery SUMITO 笠間市笠間2192-35 0296-72-2104 10時～17時 金曜日 中村敏廣 KIRIKO展～vol.3 4/19(土)～5/11(日) 9人の作家さんによるガラスの生物展 5/17(土)～6/15(日)
- ⑤ 陶の小径 0296-72-6865 (代表) 春の花を生ける 3月～5月 風鈴展 6月～7月
- ⑥ 回廊ギャラリー門 笠間市笠間2230-1 0296-71-1507 10時～18時 無休 寺本一門展 3/29(土)～4/11(金) 山下秀樹展 4/12(土)～25(金) 齊藤正秋展 4/26(土)～5/9(金) 杉山洋二展 5/10(土)～23(金) 和田由紀子展 5/24(土)～6/6(金) みずのみさ展 6/7(土)～20(金) 阿部 慎太郎・船串 篤司二人展 6/21(土)～7/4(金)
- ⑦ SPACE nico 笠間市笠間2257-5 0296-73-0750 12時～17時 火曜日 nicoの小さな陶器市 4/26(土)～5/15(木) 外山亜基雄展 6/7(土)～23(月) はざまよこ ガラス展 6/28(土)～7/7(月)
- ⑧ かまげん 笠間市笠間2255-3 0296-72-0039 9時30分～17時30分 無休 マンスリー 竹内宏文春の器展 4/1(火)～30(水) マンスリー 尾崎 高行陶展 6/1(日)～30(月)
- ⑨ きらら館 笠間市笠間2258-1 0296-72-3109 10時～18時 無休 岩本 倫子作陶展 4/8(火)～20(日) 中浦和博作陶展 4/22(火)～5/6(火・祝) 内藤 加奈子作陶展 5/8(木)～18(日) 駒澤博司作陶展 5/20(火)～6/1(日) 安藤 喜代子「Kyoko Ando Exhibition 2014」展 6/3(火)～15(日) 出町光識作陶展 6/17(火)～29(日)

- ⑩ かしま文化会館 笠間市笠間2305-1 12時～18時 月曜・火曜休 Lee Minoda『175SNAPS & some questions』4/9(水)～5/11(日・祝) 常設展示 5～6月
- ⑪ UTSU工房 Nobu's Gallery & Cafe 笠間市手越62-6 11時～18時 0296-71-1035 月曜・第3火曜休 春の手仕事 行田奈奈 手織り 3/29(土)～4/6(日) 利根川友理子展 stromatolite 4/22(火)～27(日) 池田洋美 洋服展 vol.3 5/4(日・祝)～11(日) 矢萩 栄司・千原 通明 写真二人展(仮) 5/27(火)～6/1(日) にしよしみ 絵画展(仮) 6/7(土)～15(日) ※6/9(月)休 日 Nobu's Gallery 企画 vol.9 筒井修陶展(仮) 6/21(土)～29(日) ※6/23(月)休 日
- ⑫ かつら陶芸 BAGUS 笠間市下市毛47-3 0296-72-6688 9時30分～18時 年末休(12/30-31) 駒澤博司展 3/25(火)～4/7(月) 尾崎 高行展 4/13(日)～29(火・祝)
- ⑬ 手打百泰 笠間市下市毛229-1 0296-73-5008 11時～15時(土日は～19時) 火曜日 比呂・タナカミチコ展 3/27(木)～4/23(水) 酒井敦志之展 5/15(木)～6/18(水) 加藤 春奈・町田 幸展 6/19(木)～7/23(水)
- ⑭ ギャラリー桜 笠間市下市毛273 0296-72-0803 10時～17時 月曜日(祝日の場合は翌日) 及川美智子展 4/19(土)～5/6(火・祝)
- ⑮ J gallery 笠間市笠間4044-1 0296-73-4541 10時～17時 水曜・第3火曜休 三東宗二郎・本田 正二人展 4/3(木)～27(日) 竹工芸展 5/1(木)～27(火) 岩見 正巳・岡 真理子二人展 6/1(日)～29(日)

miniiku編集部おすすめ！笠間のイベント情報

○あたご山 桜まつり 日時：4月5日(土)～5月6日(火・祝) 会場：愛宕山大駐車場 問/TEL：0296-72-9222(笠間観光協会)

○第12回 北山公園桜まつり 日時：4月5日(土)～12日(土) 会場：北山公園 問/TEL：0296-72-0216(事務局・深澤)

○第43回 笠間つつじまつり 日時：4月19日(土)～5月11日(日) 8:00～18:00(※開花状況により延長の場合あり) 会場：笠間つつじ公園(有料) 問/TEL：0296-77-1101(笠間市商工観光課)

○第8回 ちよつ蔵新酒を祝う会 日時：4月27日 11:00～21:00頃 会場：磯崎酒造(有料) 問/TEL：0296-74-2002(磯崎酒造)

○鳳台院の石楠花(しゃくなげ) 日時：5月中旬～下旬 会場：鳳台院 問/TEL：0296-72-0024

○第11回 道の市 日時：6月7日(土) 10:00～17:00 8日(日) 10:00～16:00 会場：弁天町交差点から130m区間 問/TEL：0296-72-0119(さくらガス(株) 藤枝)

○第3回 行幸町わくわくフェスタ 日時：6月8日(日) 10:00～20:00 会場：笠間駅前通り行幸町地区内 問/TEL：0296-72-0504(青木)

編集後記
あなたとうつわをつなぐやきもの情報誌【miniiku】vol.4はいかがでしたか。【miniiku】は「陶芸女子」をこよなく愛する女子たちの会「陶芸女子」による情報誌です。今号では、笠間と益子のやきもの歴史に触れるべく、貴重なお話を伺いました。「知れば知るほど奥が深く面白いです」と改めて思いました。この場を借りてお礼を申し上げます。そして、春といえば陶器ですが、私たちが新たなうつわとの出会いがともなう楽しみます。【miniiku】への感想、笠間と益子の情報をぜひ教えてください。お待ちしております！

map@tougei-web.com @miniiku_ http://www.facebook.com/tougei.ka http://tougei-web.com/jyoshi

関東やきものライナー 高速バス かさましこ

焼物の里へ毎日運行 秋葉原から乗り換えなしで快速

秋葉原から関東やきものライナーにご乗車されたお客様に、お得な2日間有効のクーポンバスをプレゼント！
焼物の里・笠間をぶらりとお得に巡ってみませんか。
miniiku編集部おすすめのスポットをご紹介します♪

お買い上げ価格より10%OFF! ※一部商品を除く
笠間焼窯元共販(株) 共販センター
着置きや茶碗といった日常食器を中心に、笠間火器も取り扱っています。取り扱い作家数は笠間屈指の約100人。自分へのお土産探しにおすすめです！

お買い上げ価格より10%OFF! ※一部商品を除く
かつら陶芸
笠間焼の有名作家の作品から現代の若手作家まで豊富な品揃え。素材で温かみのある笠間焼を手に取りながら、木に囲まれたお店でゆっくりとお買い物を楽しめます。

お買い上げ価格より10%OFF! ※一部商品を除く
製陶ふくだ
200余年の伝統を守り続けている笠間焼の窯元。自然に囲まれた雰囲気の中で、自分だけの器を作ってみませんか？粘土手ひねり・絵付けの体験ができます。 ※詳しくは店舗へお問い合わせ下さい。

お買い上げ価格より10%OFF! ※一部商品を除く
茨城県陶芸美術館
笠間芸術の森公園の中にある「伝統工芸と新しい造形美術」をテーマにした、気軽に立ち寄れる陶芸専門の美術館です。板谷波山・松井康成といった巨匠たちの作品が並びます。

特典ご利用の際は、各店舗でクーポンバス(乗車証明書)をご提示ください。クーポンバスは2日間有効、配布実施は下り便のみです。ご希望の方は、バス降車時に乗務員へお申し付け下さい。

他にも「かさましこ」サービス特典がたくさん！
詳しくはこちら▶

笠間の見どころをぐるっと周遊!
1回乗車につき 100円 かさましこ周遊バス 1日フリー乗車券 200円

※乗車券は周遊バス車内に販売 月曜休(祝日の場合は翌日)